



ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 262

2018年

5～6月号

行 事 案 内

Enjoy 手賀沼!

第 29 回バードウィーク手賀沼探鳥会 (5月手賀沼探鳥会)

バードウィーク(5/10～5/16)に合わせて実施されるイベント Enjoy 手賀沼! の一環として探鳥会を行います。我孫子市鳥の博物館と当会が共催し、山階鳥類研究所が後援します。探鳥会には50名前後の市民の参加が見込まれ、当会は探鳥のガイドや認めた鳥の説明等を行います。

会員多数のお手伝いをぜひお願いします。

期 日 5月13日(日)
集 合 手賀沼親水広場 午前8時30分
担 当 全幹事(事務局: 桑森亮他)
案 内 手賀沼遊歩道を歩く1時間コース(9:15～10:30)と2時間コース(9:15～11:30)に分け、どちらかを選んで頂きます。

探鳥後の鳥合わせは班ごとに鳥の博物館で行います。

5月の定例手賀沼探鳥会はこのバードウィーク探鳥会に代えます。

雨天の場合は鳥の博物館見学会(入場無料)を実施します。受付9:30から、見学会10:00～11:00

雨天の判断は7時30分以降「鳥博」

Tel: 04-7185-2212 まで。

6月手賀沼探鳥会

期 日 6月10日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 手賀沼の仲間たちは、子育ての真っ最中!

おなじみコブハクチョウやオオバン、カイツブリのヒナたちに会いに行きましょう。

ヨシ原で目をつぶれば「ギョギョシギョギョシ」、「ヒッヒッヒッ」という声に心なごみ、目を開けて空を見上げれば上空を舞うサシバやノスリの勇姿が・・・。

感動間違いなしの探鳥会です。

解 散 正午
担 当 小林(寿)、村井

5月、6月手賀沼定点カウント

期 日 5月1日(火) 雨天延期
6月5日(火) 雨天延期
集 合 我孫子市役所 午前9時

解 散 正午予定
担 当 金子雅幸、船津登、桑森亮
連絡先 桑森亮

Tel: 04-7182-3149

5月、6月ピオトープ調査

期 日 5月2日(水) 雨天延期
6月7日(木) 雨天延期

集 合 手賀沼ピオトープ 午前9時30分

案 内 5月は冬鳥がまだ少し残り、夏鳥(オオヨシキリ、ツバメ、運が良ければチュウサギ、ヨシゴイ)が見られるようになります。6月になると冬鳥は去り、夏鳥になります。野鳥は昨年5月20種、6月16種観察しました。木の花は5月ツツジ、コデマリ、ハナズオウ等、6月アジサイ、シモツケ、タイサンボク等の花が、野草の花は5月シロツメクサ、ハルジオン、ヤセウツボ、ヒメコバンソウ等の花が、6月ニワゼキショウ、ミヤコグサ等の花が咲きます。昆虫では蝶(5月：ツマキチヨウ、ギンイチモンジセセリ、6月コムラサキ)、トンボ等も多く見られるようになります。春から初夏のピオトープ周辺の風景、動植物を観察しながら、探鳥をしてみましょう。初めて参加を希望される方は下記までご連絡の上、当日は五本松公園キャンプ場の駐車場に9時までにお越しください。

解 散 午前11時30分

担 当 鈴木静治
Tel: 080-3121-4757

裏妙義・伊香保森林公園探鳥会

期 日 5月27日(日)~28日(月)雨天決行

集 合 我孫子駅北口 ふれあい広場前
午前8時

定 員 27名 先着順

案 内 伊香保森林公園では、オオルリ、コルリ、コマドリ、クロツグミなどほとんどの夏鳥を見る事が出来そ

うです。主たるポイントのオンマ谷まではかなり山道を歩く感じとなりそうですが、シダ池で水を飲みに来る鳥達を待って観察する方法もお勧めです。裏妙義はずばりクマタカ狙いで、ひょっとしてイヌワシも。また、今回宿泊する奥四万は、ヤマドリなども棲息する景勝地です。景色共々お楽しみ下さい。

持 物 観察用具、雨具、昼食、防寒具(森林公園は標高も高く、寒さも予想されます)

交 通 中型バス アピコ西武観光バス

宿 泊 伊東園温泉ホテル四万
Tel: 0279-64-2201
夕食(90分飲み放題付バイキング)
朝食(バイキング)

費 用 21,000円/人(参加者数によっては変更の可能性有り)

申 込 金子雅幸まで
Tel: 04-7133-6944

締 切 5月5日(土) (部屋を押さえる関係上、期間が無くて済みません)

担 当 野口隆也、金子雅幸

印旛沼・房総風土記の丘探鳥会

期 日 6月24日(日) 雨天中止

集 合 我孫子駅北口 午前8時

案 内 印旛沼では、葦原で動くヨシゴイ、オオヨシキリを、水田で首を伸ばしているサンカノゴイを探します。房総風土記の丘では、サンコウチョウを期待しての探鳥会です。

交 通 自家用車分乗です。同乗者は一人1,000円を運転者にお渡し下さい。自家用車を提供可能な方は、申込時にその旨を連絡願います。

持 物 観察用具、雨具、昼食(途中購入可)、飲み物

申 込 船津登まで
Tel: 090-7267-3728

担 当 船津登、村井みとい

新入会員オリエンテーション

今年度も“新入会員オリエンテーション”を下記の様に開催いたします。

当会の歴史・活動の詳細、探鳥の楽しみ方など、当会の全てを丸ごと知って頂ける良い機会です、

昨年度より入会された新入会員の皆様を対象ですが、長年の会員の方の参加も歓迎します。特に、近年に入会され、新入会員オリエンテーションに参加いただけなかった会員の皆様には、良い機会と思います。奮ってご参加ください。

参加希望者は、下記申し込み先へ、期限までに申し込みください。

記

開催日時 6月16日(土) 13:30~16:30

会 場 水の館 3階研修室

(開会 15分前より野鳥動画/スライド・ショー放映)

開会

1: 歓迎の挨拶

当会運営体制(組織,役員,事務局)紹介

2: 当会の紹介

当会の他では得られない特徴/楽しみ

当会の名人たち

当会の年間活動

これまでの探鳥地と出会った鳥たち

こんな時のコンタクト先

3: 先達に聴く 探鳥の楽しみとヒント

探鳥の仕方
探鳥の楽しみ方

柏市(沼南地区)で確認された珍しい鳥

4: 今後の活動予定と参加の案内

5: 質疑応答 & 懇談

閉会

申込み先: 野口紀子まで

TEL: 04-7182-7232 (お電話での連絡は 14:00 以降をお願いします)

期 限 6月2日(土)

その他 参加者には、当会の活動をあまねく紹介する当会特製DVDを進呈いたします。

担 当 相良直己、船津登、野口紀子

5月役員会案内

日 時 5月13日(日) 13:30~16:00

場 所 北近隣センターつくし野館
第2,3会議室

議 題

平成30年度下期行事計画

平成30年度役員の仕事別分担

幹事の補充選任

会報263号掲載予定記事

報告事項

・対外対応状況 他

その他(議題のある場合は桑森までご連絡下さい)

行 事 報 告

2月手賀沼探鳥会

日 時 2018.2.11 9:00~12:15

晴れのち曇り 無風 9~12

今回の定例探鳥会は、1月30日の朝日新聞夕刊イベント紹介欄に掲載されたこともあり、首都圏の各方面から27名の方々の一

般参加があり、会員37名を加え、総勢64名の大探鳥会となりました。朝の8時半頃には早々と遠来からの参加者が集まり始め、9時には市役所玄関前が一杯になりました。前日の下見では、水鳥をはじめ鳥全般が少なく、新聞掲載記事では多ければ50種の観察ができるとの記載があり、誇大広告との誹り

を懸念する中でのスタートでした。

鳥が少ない中でも出だしから水際にはコガモにバン、木立にはコゲラやホオジロ、葦原にはオオジュリンが現れ、常連のハヤブサもいつもの鉄塔から飛び出し再び鉄塔に戻って鎮座してくれました。ヒドリ橋ではクイナやチュウヒが出現し、それなりのショーとなりました。道の駅での休憩を挟み、ハス群生地ではいつものコブハクチョウ、マガモ、オナガガモ、ホシハジロがいてくれて一安心し、そんな中、ハイイロチュウヒ が水面から水の館周辺を飛んでくれました。

最後のお立ち台(片山の緑道)では無風で鏡のような水面には何も見えず、対岸の水際にヒドリガモがいるくらいでしたが、農耕地を見ると電柱にノスリがいて、最後を締めくくってくれました。

大人数で、ふれあい緑道は自転車も多い中での探鳥会でしたが、参加者の皆様のご協力の下、事故なく無事終了しました。認めた鳥は目標の 50 種には届きませんでした。一般参加の皆さんには、何とか手賀沼の野鳥を楽しんでいただけたのではと思います。参加の会員各位には案内から交通整理など、いろいろとご協力いただき、担当幹事としてお礼申し上げます。

<認めた鳥> コブハクチョウ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クイナ、バン、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、トビ、チュウヒ、ハイイロチュウヒ、ノスリ、カワセミ、コゲラ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計 45 種 番外：カワラバト

<会員参加者> 関口英治、佐藤さなえ、畠中曉美、松田幸保、小林寿美子、間野吉幸、肥後邦彦、野尻清敬、小池忠彦、佐和橋みどり、船津登、坂元孝行、坂元貴子、相良直己、榎本右、百瀬喬、千葉洋、嶋崎省、相馬唐代子、西城猛、野倉元雄、阿部真弓、阿部修三、石井俊子、徳重玲子、渡辺政一、金子幸子、

鈴木静治、松本勝英、高波宣子、類地佑子、玉井修一郎、鍋倉妙子、野口紀子、岩田マキ工、常盤孝義 (担当) 桑森亮 一般参加 27 名、当会参加 37 名 計 64 名

2月手賀沼定点カウント

調査日時 2018.2.6 9:00~12:30
晴れ 北風やや強し 2~6

数日前までいたと言うカモの大群を期待したが既に飛び去ったか、冷たい風が身に染みる合計 900 羽にも満たない寂しいカウントとなった。(風を避けて葦の中に潜り込んだカモ類もそれなりにいただろうと推測もできるが...)

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	26	37	63
オカヨシガモ	0	2	2
オカガモ	9	0	9
ヒドリガモ	0	58	58
マガモ	0	124	124
カルガモ	80	24	104
オナガガモ	0	25	25
コガモ	153	4	157
ホシハジロ	0	22	22
ミコアイサ	1	5	6
カイツブリ	19	3	22
カンムリカイツブリ	16	10	26
ハシボソカイツブリ	1	1	2
カワウ	15	13	28
アオサギ	25	4	29
ダイサギ	2	1	3
コサギ	0	4	4
バン	1	0	1
オオバン	7	124	131
ユリカモメ	21	6	27
セグロカモメ	1	0	1
合計	377	467	844

<調査者> 桑森亮、金子雅幸、船津登 計 3 名

2月手賀沼ピオトープ調査

調査日時 2018.2.1 9:30~11:25

曇り 弱風 5

1/22 に降った雪がまだ少し残り、曇りの寒い日であったが、沼岸のカモ類(カルガモ、マガモ、オオバン、カイツブリ)が泳ぎ、カワウ、ハシボソガラス、クロハラアジサシ、ユリカモメが上空を飛ぶ。沼岸の葦原では小鳥(オオジュリン、ウグイス等)が動き、田では採餌する鳥(アオジ、ホオジロ、ツグミ、ムクドリ、ハシボソガラス)が見られた。ビオトープの池の水鳥が少ない。コガモが泳ぎ、アオサギ、カワセミが採餌する。池の周囲の葦原では小鳥(アオジ、ウグイス、オオジュリン、ホオジロ)が動き、アカハラ、ノスリ、モズが木に止まり、スズメ、キジバト、ツグミが低空飛行し、ミサゴ、チョウゲンボウ、ユリカモメが上空を飛ぶ。木の間でカワラヒワ、メジロ、ヒヨドリが鳴く。観察範囲外の沼中央をチュウヒが飛ぶ。

観察した野鳥 28 種 167 羽、他に木の花 1 種、蕾 3 種、実 8 種、野草の花 1 種、葉(口ゼット)3 種、穂、実 6 種、カマキリの卵塊 1 種を観察しました。

< 認めた鳥 > マガモ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、オオバン、ユリカモメ、クロハラアジサシ、ミサゴ、ノスリ、カワセミ、チョウゲンボウ、モズ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ムクドリ、アカハラ、ツグミ、スズメ、カワラヒワ、ホオジロ、オオジュリン、アオジ 計 28 種。

< 調査者 > 鈴木静治、船津登、間野吉幸、池田日出男、古出洋子 計 5 名

るなど見ごたえがあったらしい。

お立ち台に向かう途中で、飛ぶノスリを車窓から見られた幸運組があった。お立ち台ではまだ残っているカモ達を遠いながらも見る事ができ、ミコアイサを確認した人もいた。下見時は強風の影響でカモの姿が見えなかったが、今日は風がほとんど無かったことが幸いしたようだ。

< 認めた鳥 > キジ、コブハクチョウ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、ミコアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、クイナ、バン、オオバン、ユリカモメ、トビ、オオタカ、ノスリ、カワセミ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、モズ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計 42 種 番外：カワラバト

< 参加者 > 鈴木静治、小池忠彦、肥後邦彦、畠中暁美、青木典子、中根忠、榎本右、渡邊俊文、坂元貴子、相馬唐代子、小澤淳宏、森本宣久、鍋倉妙子、関口英治、佐藤弘美、高波宣子、野尻清敬、野口紀子、西城猛、石渡成紀、相良直己、間野吉幸、野口隆也、野倉元雄、小林博之、古出洋子、岩田孝之、石井俊子、常盤孝義、松本勝英、川村美恵子、西嶋昭生、金子幸子、百瀬喬、新堀正則、嶋崎省、中川航太(担当)松田幸保 計 38 名

3月手賀沼 定点カウント

調査日時 2018.3.11 9:00~12:30

曇りのち晴れ 微風 6~9

微風が幸いし、前年の様なマガモの群れは見られなかったがヒドリガモ、カルガモが増えほぼ前年並みのカウントが出来た。上沼ではホオジロガモの 1 羽とハジロカイツブリ 7 羽が確認された。又、葦原のオオジュリンは冬羽の摩耗が進み の多くは頭部など黒っぽくなって来ている。

3 か月累計では、6,100 羽を超え、前年より 2,000 羽強多い数字となっている。

3月手賀沼探鳥会

日時 2018.3.11 9:00~12:00

曇り時々晴 微風 10

第 2 機場での魚を食べているトビを別の個体が襲う光景が面白かった。オオタカ 2 羽と鉄塔のハヤブサの存在はうれしかったが、水面と葦原の鳥は種類・数とも少なかった。きれいなカンムリカイツブリが眠りながら泳いでいる姿に人気があった。ヒドリ橋周辺は河津桜が見ごろなうえに、クイナが出

調査種	上沼	下沼	合計
コブハクチョウ	14	47	61
オオシカモ	38	0	38
ヒドリガモ	0	186	186
マガモ	0	113	113
カルガモ	69	142	211
オオガガモ	0	19	19
コガモ	179	74	253
ホシバジロ	0	5	5
ホオジロガモ	1	0	1
ミコアイサ	1	0	1
カイツブリ	15	7	22
カンムリカイツブリ	26	11	37
ハジロカイツブリ	7	0	7
カワウ	16	39	55
アオサギ	6	1	7
ダイサギ	3	1	4
コサギ	1	3	4
クイナ	1	0	1
オオバン	19	40	59
ユリカモメ	21	17	38
セグロカモメ	0	1	1
合計	417	706	1,123

<調査者> 桑森亮、船津登、金子雅幸 計 3 名

3月手賀沼ピオトープ調査

調査日時 2018.3.3 9:30~11:30
 晴れ 無風 10~15

今日は暖かい日になったが、これまで寒い日が多かったので、植物(木芽、野草の花)が例年より遅い。それでも日当たりのよい堤防にはツクシが出ている。水田ではツグミが餌探し、ムクドリが電線に止まり、上空をトビ2羽が飛ぶ。ピオトープの池ではオオバン、バン、カルガモ、コガモが泳ぎ、ダイサギが餌探し。葦原ではアオジ、オオジュリン、ホオジロが動き、木の頂でもホオジロが囀る。ウグイスの地鳴き、囀りも聞こえる。カワラヒワの囀りも聞こえる。モズが木に止まり、カワセミが飛ぶ。ジョウビタキも見られた。林ではシジュウカラ、ヒヨドリが飛び回る。沼岸の葦原にジョウビタキが止まり、ウグイ

スの地鳴き、オオジュリンが餌を探して飛び回り、ホオジロが葦の種子を啄む。カイツブリが鳴き、コブハクチョウ、カルガモ、オオバン等が泳ぎ、上空をユリカモメが飛ぶ。観察した野鳥は26種119羽。他に木の花穂2種、実4種、野草の花5種、葉芽6種、花穂、実4種、カマキリの卵塊1種、蛙1種、テントウムシ1種を観察しました。

<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、ダイサギ、バン、オオバン、ユリカモメ、トビ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、シジュウカラ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、カワラヒワ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン 計26種
 <調査者> 鈴木静治、船津登、金子雅幸、池田日出男、千葉洋、百瀬喬 計6名

涸沼・平磯海岸探鳥会

2月18日

~王者の風格のオオワシに興奮!~

金子幸子

前日の天気予報より好天に恵まれ、オオワシが見られると云う幹事さんの話に期待し、我孫子を8時過ぎに出発。

涸沼新沢公園に、10時過ぎに到着。駐車場の隣のヤドリギに昨日8時30分頃レンジャクが出たとのこと、数人のカメラマンがスタンバイしていた。するとシメが現れてくれた。沼の方ではミミカイツブリ、ハジロカイツブリ、キンクロハジロ。

移動しながらオオワシの出るのを待った。すると上空に、ゆったりと近づいてくれ、くちばし、足の黄色がはっきり、長くさび型の尾羽、背の白い羽も見られ、さすが王者の風格です。10時30分に対岸に移動、車の中からも低く飛ぶ姿が見られ、駐車するのもしどかしそうにカメラを向け、先ほどより良く見え、こんなにゆったり見えるのは久しぶりだそうで、皆さん興奮気味でした。

いこいの村涸沼で昼食、土手沿いを探鳥後、大洗、平磯海岸公園に、岩場にはカモメ、カルガモ、ヒドリガモ、後頭部のボサボサがかわいいウミアイサ、お目当てのシノリガモの雄雌とも見られ大満足でした。

幹事様、車を提供して下さった方に御礼申し上げます。

【幹事報告】

今年の涸沼は極端にカモ類が少なく毎年
の光景を想像した皆さんには期待外れであ
ったが、それを補って余りある物にして呉れ
たのがオオワシのソアリング(帆翔)だった。
レンジャク期待で初めて訪れた親沢公園で
オオワシが舞い上がった姿を見つけてから、
涸沼を去るまでほとんど飛びっぱなし状態
でその美しい雄姿を堪能させて呉れた。那珂
湊港では予想外のウミスズメの群れに遭遇
し、平磯海岸ではシノリガモ、ウミアイサな
どの他にアカエリカイツブリ、アビ、オオハ
ム、シロカモメなども見られ、目標を超える
62種の鳥達との出会いで充実の探鳥会を終
えた。

<認めた鳥> キジ、コブハクチョウ、オカヨ
シガモ、ヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カ
ルガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジ
ロ、スズガモ、シノリガモ、ホオジロガモ、
ウミアイサ、カイツブリ、アカエリカイツブ
リ、カンムリカイツブリ、ミミカイツブリ、
ハジロカイツブリ、キジバト、アビ、オオハ
ム、カワウ、ヒメウ、ウミウ、アオサギ、ダ
イサギ、コサギ、オオバン、ハマシギ、イソ
シギ、ユリカモメ、ウミネコ、セグロカモメ、
オオセグロカモメ、シロカモメ、ニシセグロ
カモメ、ウミスズメ、ミサゴ、トビ、オオワ
シ、ノスリ、コゲラ、モズ、ハシブトガラス、
ハシボソガラス、ヒヨドリ、ウグイス、エナ
ガ、ムクドリ、アカハラ、ツグミ、ジョウビ
タキ、イソヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、
ピンズイ、カワラヒワ、シメ、ホオジロ、ア
オジ、オオジュリン 計62種

<参加者> 古賀嗣朗、高波宜子、井上正、坂
元孝行、坂元貴子、浅野利幸、小澤淳宏、百
瀬喬、金子幸子、関口英治、関口優香、中西
榮子、仲澤成二、野尻清敬、野尻恭子、桑森
亮、池田日出男、吉田隆行、松田幸保、大久
保陸夫、津村勝吉、渡邊俊文、新堀正則、ノ
ートン夫妻 (担当) 船津登、金子雅幸 計
27名

～初めての遠出の探鳥会～

阿部真弓

2月11日(日)に定例の手賀沼探鳥会に初
めて参加し、楽しかったので気が付いたら我
孫子野鳥を守る会に帰りには入会していま
した。2回目が今回の探鳥会でした。

行徳駅に9時集合、バスを乗り継いで江
戸川、行徳と移動し帰りの新浦安駅に着いた
のはなんと夕方5時でした。

しかし、最後に念願のズグロカモメが見られ
最高の探鳥会となりました。

江戸川沿いの土手には河津桜が満開、河口
で海が近い手賀沼とは違った水鳥に出
会えました。ウミアイサやユリカモメ、ミヤ
コドリをじっくり観察し、アオサギはこの時
期だけしか見られないという鮮やかなオレ
ンジ色の嘴を確認、今まで見た中で一番美
しいアオサギでした。

行徳では野鳥観察舎のスタッフの案内で
普段立ち入ることができない鳥獣保護区に
も案内していただき、繁殖期には1ヶ所
で1000羽から2000羽も集うというカワウの
コロニーも見学しました。

観察舎に着くとユリカモメに交じってなん
とズグロカモメ2羽を発見、ずっと動か
ずにくらべておかげでじっくり観察する
ことができ参加者の日頃の行いの良さが証明
されたようなできごとでした。

最後に事前に下見してくださった幹事さ
ん、そして図鑑手に詳しく説明してくださ
った間野さんありがとうございました、とても
楽しかったです!

【幹事報告】

一昨年11月に続き、今年度も江戸川河口
と行徳自然保護区の探鳥会が開催され、16
名の会員が参加しました。

行徳駅に朝8時50分に全員集合し、バスで
行徳橋南詰めに移動、江戸川河口に向かっ
て河川敷で探鳥です。天気恵まれ、探鳥日和、
素晴らしい期待に胸が膨らみます。

当日は東京湾が大潮、みると潮位が下
がり、江戸川両岸に干潟が現れます。

下見時には、目の前に見えたウミアイサも
ハジロカイツブリも岸から遠く、少しガッカ

リ・・・と思いきや、目の前に広がった干潟にミヤコドリ 13羽の群れ、また、中々見ることが少ないカモメが暫くの間、楽しませてくれました。

手賀沼周辺で見慣れたカモたちのみでなく、予定通り、ウミアイサの小群、ハジロカイツブリ、スズガモの群れも見ることができ、昼食後、バスで行徳自然保護区に移動です。行徳自然保護区は、日頃は立入制限がされ、入れませんが、今回も、千葉県に保護区立入申請をし、許可を得ました。行徳自然保護区では、前回同様、行徳野鳥観察舎スタッフの野長瀬さんにご案内いただきました。今回も、保護区に入るや否や、タヌキの溜め糞がお出迎えです。また、オオタカがカモを襲った食痕もみることができました。2000羽ものカワウのコロニーでの繁殖の様子を観察し、キンクロハジロ、ホシハジロ、スズガモなどのカモ類を探鳥、ここでもウミアイサやオカヨシガモにも会うことができました。

「チュウヒ」だと声が上がります。国内では大変少なくなり絶滅危惧種 I B (E N) に指定されているチュウヒ登場です。そして、いよいよ真打ち登場。下見時には冬羽の幼鳥 1羽のみであったズグロカモメがユリカモメやセグロカモメの群れの中に夏羽の成鳥も併せて登場。ズグロカモメも環境省指定の絶滅危惧種 (V U) です。黒頭巾を被ったような漆黒の頭、その中でクリッとした真っ白な丸い目に真っ黒な瞳。まるで人形のように。「カワイイ」という声が思わず上がります。何に驚いたのかカモメの群れが一斉に飛び立ち旋回です。ズグロカモメも飛び立ちます。一斉に会員のシャッターの音が響きます。すぐ先の干潟に降りました。ヤマトオサガニを啜っています。幹事をはじめ、参加者殆どが初見のズグロカモメをタップリ堪能しました。この後、野鳥病院を観察し、そして鳥合せで 41 種もの出会いを確認し、探鳥会を終えました。

希少種のミヤコドリ、チュウヒ、ズグロカモメなどに出会い、参加の会員全員に満足していただいた素晴らしい探鳥会となりました。今回もご協力いただきました行徳野鳥観察舎野長瀬様に感謝申し上げます。

< 認めた鳥 > オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、ホシ

ハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、ウミアイサ、カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、バン、オオバン、ミヤコドリ、イソシギ、ユリカモメ、カモメ、ズグロカモメ、セグロカモメ、チュウヒ、ハヤブサ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒバリ、ツバメ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、ツグミ、スズメ、ハクセキレイ、オオジュリン 計 40 種 番外：カワラバト

< 参加者 > 阿部真弓、石井俊子、小澤淳宏、金子幸子、桑森亮、鈴木静治、高波宣子、田中功、徳重玲子、新堀正則、新堀暖人、船津登、間野吉幸、吉田隆行 (担当) 相良直己、弘實和昭 計 16 名

波崎・銚子探鳥会

3月18日

～初めて名を知る鳥たちばかり～

鍋倉妙子

当会に昨年 11 月入会后、毎月の定例探鳥会以外では初めての探鳥会に参加しました。

ちょうど 2 年前、冒険好きの女性と 2 人で、木下から犬吠埼まで片道 8 時間、往復ママチャリで輪行しました。海には鳥が沢山いましたが、当時カモメとウミネコの名前しか知らず見分け方も知りませんでした。

今回幹事の方達が下見に行かれ、予め鳥の名をメールで知らせて下さったので、野鳥ガイドブックで予習 (?) して出発。ミツユビカモメ、ワシカモメ、ニシセグロカモメ、シロカモメなど初めて名を知る鳥達ばかり。足の色、嘴の色、翼の色を確認しながら、何という鳥だったかしらと観察していきました。ミツユビカモメはすぐそばまで近づいても逃げず初心者の私でもキレイに写真が撮れました。初めて見るクロサギ、イソヒヨドリもはっきりと見る事が出来ました。

皆さん親切に鳥のことを教えて下さるので嬉しい限りです。これからも探鳥会に参加したいと思います。

幹事の方々、車を運転して下さい下さった方々有難うございました。

【幹事報告】

我孫子駅発の車 6 台 22 名、現地合流 1 名を加え計 23 名の参加者で、予定通り 7 時 40 分頃に出発、途中道の駅「発酵の里こうざき」でトイレ休憩し、一路銚子へ向かった。下見で銚子マリーナ付近の海域で珍鳥コオリガモを確認していたため、最初に銚子マリーナへ行った。残念ながらスズガモの群れだけでコオリガモは見られなかったが、クロガモは観察。外川漁港から銚子第三漁港へと通常とは逆コースでカモメ中心の探鳥地を巡った。銚子漁港ではクロサギ、ウミウ、ヒメウ、カイツブリ類などの海辺の鳥とカモメ基本 8 種を、第三漁港ではクロガモ、ホオジロガモも観察できた。千人塚ではカモ類を観察したが、例年より種類も数も少なかった中で何とか防波堤外にシノリガモを確認した。今年はミツコビカモメが多いようで、漁港のどこでも近くを飛び交い、護岸に止まったり着水もしてくれ、久しぶりにワシカモメの堂々たる成鳥を観察できた。また、第三漁港でアイスランドカモメ又はカナダカモメ第 1 回冬羽と思われる個体を観察したが、種を確定できないため認めた鳥には入れなかった。

波崎漁港では、期待のウミスズメ、アビ類は残念ながら見られず、代わって思いがけずピロードキンクロが砂浜で休む姿を観察、他にはニシセグロカモメやウミアイサなど、往路道中では常陸利根川の葦原や湿地でカモ類数種とチュウヒの飛翔も観察できた。最後は波崎海水浴場管理施設で鳥合せを行い、予定時間を少し超過し 15 時 30 分に現地解散した。

お目当てのコオリガモは N G だったが、カモメ類はそれなりに観察でき、難しいながらもカモメ類の識別に挑戦し、手賀沼周辺では普段みられない海辺の鳥や夏羽になったカイツブリ類を楽しめた。

< 認められた鳥 > オカヨシガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、ハシビロガモ、オナガガモ、コガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、シノリガモ、ピロードキンクロ、クロガモ、ホオジロガモ、ウミアイサ、アカエリカイツブリ、カンムリカイツブリ、ミミカイツブリ、ハジロカイツブリ、カワウ、ウミウ、ヒメウ、アオサギ、コサギ、クロサギ、オオバン、ミツコビカモメ、ユリカモメ、ウミネコ、カモメ、ワシカモメ、シロカモメ、

セグロカモメ、オオセグロカモメ、ニシセグロカモメ、トビ、チュウヒ、オオタカ、ノスリ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、ツグミ、イソヒヨドリ、スズメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ホオジロ 計 52 種

< 参加者 > 間野吉幸、石井俊子、鍋倉妙子、相良直己、金子雅幸、野尻清敬、野尻恭子、神部充、渡邊俊文、マイケル・ノートン、関口英治、関口久美、大久保陸夫、相馬唐代子、吉田隆行、新堀正則、池田日出男、中根忠、古賀嗣朗、井上正、百瀬喬（幹事）桑森亮、千葉洋 計 23 名

第 29 回「野鳥サロン」実施報告

3 月 19 日(月)、第 29 回野鳥サロンが水の館 3 階研修室に於いて開催されました。

新年度からは、形式内容が一新される予定で、従前の形では最終回となりました。参加者数は、大盛況だった前回と奇しくも同じ 26 名でした。

テーマ

我孫子の鳥 : 間野吉幸
属を知ろう! : 松田幸保

概要

“我孫子はなぜ野鳥のホットポイントなのか”を我孫子市鳥の博物館の「我孫子の野鳥図鑑」を元に環境、食性、生息地から紐解きました。

答えは「我孫子のエコトーン(移行帯)」。さらに渡り鳥の渡来区分と留鳥のこと、絶滅危惧種の猛禽類、最近ほとんど観察されなくなった鳥、反対に手賀沼で越冬している意外な鳥などを学びました。

生き物の分類の中で、あまり知られていない「属」についてクイズ形式で問答しました。“学名”が「属 - 種」で構成されていることや、「目・科」が進化の過程の順を示し、「種」名がなじみ深いにも拘わらず、その間の属名の意外性に一喜一憂しながらも和気あいあい、楽しく学びました。

野鳥サロンがなくなるわけではありません。衣替えした新しい「野鳥サロン」にご期待ください。(記: 松本勝英)

< 参加者 > 金子雅幸、野尻清敬、高波宜子、

石渡成紀、畠中暁美、青木典子、石井俊子、古出洋子、鍋倉妙子、神部充、桑森亮、田中功、佐藤さなえ、小林美智子、大久保陸夫、阿部真弓、小林千恵子、相馬唐代子、関谷俊江、船津登、千葉洋、松村洋子、坂元貴子（幹事）間野吉幸、松田幸保、松本勝英 計 26 名

3月役員会報告

日 時 3月11日(日) 13:00~17:00
場 所 水の館 3F 研修室
出席者数 20名
議 事

1. 平成 30 年度定期総会について
4月8日(日)開催の平成 30 年度定期総会資料について、事務局及び会計担当が資料に基づき提案し、検討の結果、一部を修正・追記することで最終案を決定しました。総会資料は次の通りです。
 - ・平成 30 年度定期総会次第
 - ・平成 29 年度事業報告（案）
 - ・平成 30 年度事業計画（案）
 - ・平成 29 年度決算・貸借対照表及び平

成 30 年度予算（案）

なお、総会終了後に開催する野鳥講座に関する報告と当日の準備等の確認がされました。

2. ほーほーどり 262 号掲載予定記事
会報 262 号の掲載記事について、資料に基づき検討し、執筆担当等を決定しました。
3. バードウィーク手賀沼探鳥会の準備について
事務局の提案を検討し、了承されました。
4. 柏市民活動フェスタでのパネル展示について
5月13日(日)に開催される柏市民活動フェスタへの参加について、事務局提案を検討し、当会として初めて参加しパネル展示を行うことと当日の運営スタッフ等を決定しました。
5. 報告事項
次の事項が報告されました。
 - 定期総会後の野鳥講座の開催
 - あびこショッピングプラザでのポスター展示
 - 対外対応状況
 - 事務局報告事項、その他

以 上

鳥 だ よ り

昨年より鳥影が薄いと感じている人が多いようです。昨年あれほど多く見られたアトリが全く現れませんでした。ウソも観察出来ていません。

一方で、冬期にクイナ、バンがたびたび観察されていますが、今年はヒクイナが冬中滞在しました。いずれも列島の温暖化の関係なのか、少し心配になるところです。

オオジュリンは冬羽の摩耗が進み、の多くは頭部など黒っぽくなって来ています。珍しい鳥ではニシセグロカモメが観察されています。トモエガモが 20 羽ほどで手賀沼に数日間留まってくれました。ホオジロガモも昨年は観察されていませんでしたが今年は来てくれました。

初めてのウグイスの囀りが 3 月 3 日に手賀沼の緑道で聞かれ、3 月 19 日にはツバメの囀りの報告も来ています。

いよいよ春めいてきます。身近な鳥の巣作りや交尾の行動など、感じたことなど鳥だよりにしてお送りください。楽しい報告を待っています。

1.21[酒井根 6 丁目下田の森]シメ(1) 木の天辺に飛来	飯泉仁	空飛翔	鈴木静治
1.22[中峠]トツグミ(1) 林縁の枯草原に出現、双方で「固まって」 にらめっこしました	松本勝英	1.30[中沼田]ヒビ(2) 上空を滑空する	鈴木静治
1.22[中峠]ジョウビク(1)	松本勝英	1.30[片山新田]オアシ(2) 葦の茎で餌探し	鈴木静治
1.22[中峠]カマカ(20)	松本勝英	1.30[布佐平和台]カサトリ(2) 調整池の水溜を走る	鈴木静治
1.24[岡発戸]ヒキイ(1) 水路を移動	桑森亮	1.31 中峠]イソギ(1) 水路で餌探し	鈴木静治
1.24[片山(手賀の丘公園)]オアシ(1) 林の中でキョキョと鳴く	船津登	1.31[江蔵地]カサヅ(2) 水路で餌探し、飛び立つ	鈴木静治
1.24[片山(手賀の丘公園)]カウ(1) 木の上で休む	船津登	1.31[大井新田地先(手賀沼)]ミサゴ(1) 杭の上で休む	桑森亮
1.24[片山(手賀の丘公園)]マカ(3)	船津登	1.31[古戸]カウ(1) ハシボソガラス、にモビングされ電柱より 飛び立つ	鈴木静治
1.24[片山(手賀の丘公園)]カウ(5) 小枝に止る	船津登	2.01[岩井新田]カウ(1) ハス群生地で採餌	吉田隆行
1.24[片山(手賀の丘公園)]シメ(1) 木に止る	船津登	2.01[岡発戸新田]カウ(1) 沼の上空を飛ぶ	鈴木静治・船津登・ 間野吉幸・池田日出夫・古出洋子
1.24[北新田]カウ(1) 農地の上を飛翔	桑森亮	2.01[岡発戸新田]オアシ(11) 葦の茎に掴まり餌探し	鈴木静治
1.24[名戸ヶ谷]カウ(1) 田んぼで休んでいた	飯泉仁	2.03[光ヶ丘廣池学園]シメ(5) 鳴きながら移動	飯泉仁
1.29[片山(手賀の丘公園)]オアシ(1) 林の中でキョキョと鳴く	船津登	2.03[光ヶ丘廣池学園]カウ(1) 地面で餌を物色	飯泉仁
1.29[片山(手賀の丘公園)]カウ(1) 枯木に止る	船津登	2.03[光ヶ丘廣池学園]カウ(1) 木の枝に飛来	飯泉仁
1.29[箕輪新田地先(手賀沼)]カウ(1) 葦原から水辺を歩く	桑森亮	2.05[大井新田]カウ(1) 葦原の木に止まる	吉田隆行
1.29[箕輪新田地先(手賀沼)]カウ(1) 葦原で動く	桑森亮	2.05[大井新田]カウ(1) 松林の地面を動き回る	吉田隆行
1.29[染井入新田地先(手賀沼)]ミサゴ(20) 沼中央を移動	桑森亮	2.05[片山(手賀の丘公園)]オアシ(1) 林の中でキョキョと鳴く	船津登
1.29[手賀沼]ヒキイ(20) 手賀沼に定着しているようです	桑森亮	2.05[片山(手賀の丘公園)]カウ(10) 木に止る	船津登
1.30[大井新田(ヒドリ橋)]カウ(1) 水辺を動く	船津登	2.05[片山新田(手賀沼側)]カウ(1) 葦原の上を飛ぶ	船津登
1.30[大井新田地先手賀沼]オアシ(1) ヒドリ橋東の大井新田地先の手賀沼で潜水 を繰り返す	船津登	2.06[手賀沼]カウ(2)下沼 2 金子雅幸・船津登・桑森亮	
1.30[片山新田]カウ(30) 沼中で群れ休む	鈴木静治	2.06[手賀沼]カウ(2)上沼 1 下沼 1 金子雅幸・船津登・桑森亮	
1.30[上沼田]カウ(1) カラスを威嚇するように鳴き、田の上を低		2.06[手賀沼]カウ(1)上沼 1 金子雅幸・船津登・桑森亮	
		2.06[手賀沼]カウ(1) 親水公園河童噴水前	

金子雅幸・船津登・桑森亮

- 2.06[布佐平和台]イカド^リ(2)
調整池の水溜を歩く 鈴木静治
- 2.07[発作]イイヨチ^ル(1)
川の葦原・田の上を低空で飛翔 鈴木静治
- 2.08[泉新田]イ^メ(1)
林縁で鳴く 鈴木静治
- 2.08[泉村]イカ^ウ(1)
葦原上を飛び林縁の木にとまり休む 鈴木静治
- 2.08[染井入新田]イコ^アイ^ツ(4)
沿岸を泳ぐ 鈴木静治
- 2.10[大井新田地先(手賀沼)]イカ^ツイ^カイ^メ(1)
沼中央で潜水を繰り返す 桑森亮
- 2.12[片山(手賀の丘公園)]イラ^ツイ^ミ(1)
地上で採食 船津登
- 2.12[泉村新田(手賀沼側)]イ^ルイ^ル(1)
上空を飛ぶ 船津登
- 2.15[北新田]イ^ツイ^ツ(1)
4号排水路 畠中暁美・桑森亮・
松田幸保・佐藤さなえ他8名
- 2.15[北新田]イ^ツイ^ツ(1)
田圃 畠中暁美・桑森亮・
松田幸保・佐藤さなえ他8名
- 2.15[滝下広場]イ^ツイ^ツ(1)
水場の茂みで採餌 吉田隆行
- 2.15[北新田]イ^ツイ^ツイ^ツイ^ツ(1) 飛翔 畠中暁
美・桑森亮・松田幸保・佐藤さなえ他8名
- 2.15[北新田]イ^ツイ^ツイ^ツイ^ツ(25) 越流堤傍 畠中暁
美・桑森亮・松田幸保・佐藤さなえ他8名
- 2.16[片山(手賀の丘公園)]イ^ツイ^ツ(1)
カラスにモビングされる 船津登
- 2.17[曙橋]イ^ツイ^ツイ^ツ(2)
水面を移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 2.17[片山新田先手賀沼]イ^ツイ^ツ(1)
葦原の中の低木に飛来 飯泉仁・飯泉久美子
- 2.17[高野山新田地先(手賀沼)]イ^ツイ^ツ(2)
湿地の葦中を動く、鳴き声 桑森亮
- 2.17[鷺野谷新田]イ^ツイ^ツ(1)
電柱に止まり周囲を警戒 飯泉仁・飯泉久美子
- 2.18[江蔵地]イ^ツイ^ツ(1)
小川の浅瀬で餌取り 鈴木静治
- 2.18[江蔵地]イ^ツイ^ツ(1)
小川の浅瀬より飛び立つ 鈴木静治
- 2.19[発作]イ^ツイ^ツイ^ツ(1)
川原の茂みで鳴く 鈴木静治
- 2.19[発作]イ^ツイ^ツ(1)
田を低空で滑空する 鈴木静治
- 2.20[大井新田地先上沼]イ^ツイ^ツイ^ツ(1)
沼中央で潜水を繰り返す 吉田隆行
- 2.20[布佐平和台]イ^ツイ^ツイ^ツ(1)
調整池の水溜りで餌探し 鈴木静治
- 2.20[布瀬]イ^ツイ^ツ(1)
川の上空高く飛ぶ 鈴木静治
- 2.21[布佐平和台]イ^ツイ^ツイ^ツ(2)
庭の餌(殻付き落花生)をつつく 鈴木静治
- 2.25[中峠]イ^ツイ^ツ(1)
松本勝英
- 2.26[片山(手賀の丘公園)]イ^ツイ^ツ(1)
飛んできて林の中に入る 船津登
- 2.26[片山(手賀の丘公園)]イ^ツイ^ツイ^ツ(3)
小枝に止る 船津登
- 2.26[片山(手賀の丘公園)]イ^ツイ^ツ(17)
桜の木に止る 船津登
- 3.03[緑道]イ^ツイ^ツ(1)
葦原で囀っていた 吉田隆行
- 3.03[沼南道の駅]イ^ツイ^ツイ^ツ(1)
船着き場の杭で休息 吉田隆行
- 3.03[岡発戸新田]イ^ツイ^ツ(1)
沼中の杭に止る 鈴木静治・船津登・池
田日出夫・金子雅幸・千葉洋・百瀬喬
- 3.05[片山(手賀の丘公園)]イ^ツイ^ツイ^ツ(1)
地上で採食 船津登
- 3.10[布瀬]イ^ツイ^ツイ^ツ(14)
川中を泳ぐ 鈴木静治
- 3.11[岡発戸新田]イ^ツイ^ツ(1)
沿岸の葦の根元を動く 鈴木静治
- 3.11[手賀沼]イ^ツイ^ツイ^ツイ^ツ(1)上沼1
金子雅幸・船津登・桑森亮
- 3.11[手賀沼]イ^ツイ^ツイ^ツイ^ツ(1)上沼1
金子雅幸・船津登・桑森亮
- 3.11[手賀沼]イ^ツイ^ツイ^ツイ^ツイ^ツイ^ツイ^ツイ^ツ(7)上沼7
金子雅幸・船津登・桑森亮
- 3.11[手賀沼辺]イ^ツイ^ツイ^ツイ^ツ(1)上沼1
金子雅幸・船津登・桑森亮
- 3.12[片山(手賀の丘公園)]イ^ツイ^ツイ^ツ(1)
小枝に止る 船津登
- 3.12[片山新田先手賀沼]イ^ツイ^ツイ^ツイ^ツイ^ツ(1)
飛翔し移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 3.12[高野山新田]イ^ツイ^ツイ^ツ(1)

葦原の中を移動 飯泉仁・飯泉久美子
 3.12[高野山新田]ゆけ(1)
 葦原の中を移動 飯泉仁・飯泉久美子
 3.12[非公開]ゆけ(1)
 成鳥雄が枝に止まり羽づくろい 飯泉仁
 3.13[白山三丁目]ゆけ(1)
 初鳴きを聞いた 間野吉幸
 3.15[北新田]ゆけ(3)
 4号排水路 畠中暁美・高波宣子・
 松田幸保・佐藤さなえ他 9名
 3.17[大井新田(ヒドリ橋)]ゆけ(1)
 枯草の上を動く 船津登
 3.17[片山]ゆけ(1)
 森の上空高く飛翔 鈴木静治
 3.17[片山]ゆけ(1)
 森の上空高く飛ぶ 鈴木静治
 3.17[片山]ゆけ(1)
 林縁の木の梢の間を動き、鳴く 鈴木静治
 3.17[第2 機場]ゆけ(3)
 葦原で採餌 吉田隆行
 3.18[江蔵地]ゆけ(1)
 葦に止まる 鈴木静治
 3.18[布佐平和台]ゆけ(1)
 調整池の水溜りで餌探し 鈴木静治
 3.19[片山(手賀の丘公園)]ゆけ(2)
 木に止る 船津登
 3.19[上沼田]ゆけ(1)
 電柱に止る 船津登
 3.19[本町]ゆけ(1)
 我孫子駅前、囀りが何度か聞こえた 平岡考
 3.20[相島]ゆけ(1)
 田の上を鳴きながら飛ぶ 鈴木静治
 3.20[下沼田]ゆけ(1)
 上空を飛び、ハシボソガラス 10羽、カワ
 ラヒワ 30羽混乱する 鈴木静治
 3.20[発作]ゆけ(5)
 川中を泳ぐ、時々潜る 鈴木静治

今回寄せられた鳥の全種名
 アオサギ、アオジ、アカハラ、アリスイ、
 イカルチドリ、イソシギ、ウグイス、エナ
 ガ、オオジュリン、オオタカ、オオハクチ
 ヨウ、オオバン、オカヨシガモ、オナガ、
 オナガガモ、カイツブリ、カケス、カシラ

ダカ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワ
 ラヒワ、カンムリカイツブリ、キジ、キジ
 バト、キセキレイ、キンクロハジロ、クイ
 ナ、クサシギ、クロハラアジサシ、コガモ、
 コゲラ、コサギ、コブハクチョウ、シジュ
 ウカラ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、
 スズメ、セグロカモメ、セグロセキレイ、
 セッカ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、タヒ
 バリ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ツグミ、
 ツバメ、ツミ、ツルシギ、トビ、トモエガ
 モ、トラツグミ、ニシセグロカモメ、ノス
 リ、ハイイロチュウヒ、ハイタカ、ハクセ
 キレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、
 ハジロカイツブリ、ハヤブサ、バン、ヒク
 イナ、ヒドリガモ、ヒバリ、ヒヨドリ、ビ
 ンズイ、フクロウ、ベニマシコ、ホオアカ、
 ホオジロ、ホオジロガモ、ホシハジロ、マ
 ガモ、マヒワ、ミコアイサ、ミサゴ、ミヤ
 マガラス、ムクドリ、メジロ、モズ、ヤマ
 ガラ、ユリカモメ、ルリビタキ 計 88種
 <番外種>カワラバト、コジュケイ

今回の投稿者の総投稿件数

間野吉幸	17
吉田隆行	22
金子雅幸・船津登・桑森亮	90
桑森亮	36
松本勝英	12
船津登	146
畠中暁美・桑森亮・松田幸保 ・佐藤さなえ他 8名	34
畠中暁美・高波宣子・松田幸保 ・佐藤さなえ他 9名	23
飯泉仁	238
飯泉仁・飯泉久美子	112
平岡考	1
鈴木静治	251
鈴木静治・船津登・間野吉幸 ・池田日出夫・古出洋子	29
鈴木静治・船津登・池田日出夫 ・金子雅幸・千葉洋・百瀬喬	27
総計	1038

(弘實和昭)

【会員だより】（ab-yacho より）

【手賀沼上沼にホオジロガモ確認】 （一部再掲） 2018.1.30 船津登
今日、10時半ごろヒドリ橋東の大井新田、上沼で潜水を繰り返す1羽のホオジロガモを確認しました。15分後戻るともう確認出来ませんでした。
今年は、手賀沼にトモエガモが多く見られるなど、いつもの年と違うように感じられます。
なお、ハス田には、オナガガモは、見られなくなりました。

【Re 手賀沼にホオジロガモ】 2018.1.31 桑森亮
メールを見て今日午前10時30分頃上沼へ行ってきました。
情報の通り、沼中央付近でホオジロガモが潜水を繰り返していました。
近くの杭にはミサゴが止っていました。
下沼では、ハス群生地と片山地先の広い水面で夫々20羽程のトモエガモが休んでいました。一昨日もトモエガモ20羽ほどを見ており、手賀沼に定着しているようです。

【中峠にシメがやってきた】 2018.2.26 松本勝英
昨日、タシギ、イソシギ、ジョウビタキの後、シメに久しぶりに会えました。
ツグミが木に止まり、ヒヨドリが群れて「渡り」の予兆かも知れません。
モズは縄張りの見張りが散見します。営巣体制に入っているのかも。

【初音】 2018.3.14 古出洋子
今朝は朝から気温が高かったですね。洗濯物を干しに外に出たら、裏山から初音が聞こえてきました。必死になって発声の練習をしている様で健気さに感動しました。
11日の定例探鳥会時に、市内の方からの初音だよりをお聞きしましたが在（印西）にも春がやってきたようです。

【手賀沼のコブハクチョウに標識を行いました】 2018.3.25 小田谷嘉弥
3月20日に、山階鳥類研究所との共同調査で、手賀沼高野山新田でコブハクチョウ3個体に標識を行いました。
緑色の首環と緑色の足環、背中にはGPS発信器を装着しています。
調査の目的など詳細は以下の鳥博ウェブサイトをご覧ください。
<http://www.city.abiko.chiba.jp/bird-mus/info2/kobuhaku.html>
こうした標識個体の追跡には、一般の観察者のご協力が調査の成果に直接結び付きます。
しかし今回は、手賀沼内部の目撃情報については、ある程度定着している個体であること、装着しているGPS送信機から詳細なデータが得られる見込みであることから、ひとまずお知らせいただくなくて結構です。もし、利根川の本流など、手賀沼の外でこれらの標識個体を確認されましたら、ぜひご報告いただければ幸いです。
ご理解とご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。

【ツバメ、中峠に飛来、今期初認】 2018.3.25 松本勝英
昨日（3/24）10時頃、散歩中にツバメ2羽飛翔を確認しました。
私にとって、中峠での初認です。

17日午後4時頃、満開の梅の木で夕日に映えるジョウビタキを見てから、この一週間、まったく出会えません。こちらは「終認」かも知れません。
コゲラのドラミングが盛んです、キジの鳴き声が響いています。
中峠に春が確かにやって来ました。

【燕初認の件】

2018.3.25 畠中暁美

たった今松本さんの燕初認のメールを見て慌ててご報告です。
昨日3月24日布施弁天に行ったとき、燕が1羽飛んでいるのを発見しました。
確か11時ごろだったと思います。(布施弁天の白木蓮を見に行った帰り)
調べてみると毎年ほぼ同じころに見られますね。お知らせです。

【中峠にサシバ飛来！】

2018.3.28 松本勝英

今夕、5時頃、中峠でサシバ2羽確認しました。
カラスのモビングのため樹上の1羽だけカメラに入れましたが、去年の個体らしいです。
もちろん今期の初認です。久しぶりに、「キスミー」の声、感激しました。
桜と同様、昨年より10日ほどは早い渡来です。自然の素晴らしさを実感させられました。

【Re 中峠にサシバ飛来！】

2018.3.29 村井みとい

我孫子でなくすみませんが、利根川沿いの農免(柏市)と野田市で本日サシバ各1羽を確認しました。最近、一気ににぎやかですね。

【続、中峠のサシバ】

2018.3.30 松本勝英

今朝8時過ぎから、サシバの声が盛んでしたので上空を見ると、なんと3羽が「遊覧飛行」状態で舞っていました。去年の個体ペアに、新参加者が加わったのか様子見しましたが、特に追い出す行為もなく、声高に鳴き合うだけでした。
午後には、3羽共に静かになり、どこかに遠出してしまい夕方は姿がありません。
中峠が嫌われてしまったのか心配です。

会からのお知らせ

< 新入会員紹介 >

阿部修三・阿部真弓 (柏市在住)
関口優香 (家族会員の追加) (我孫子市在住)
嶋崎 省 (平成30年4月入会) (柏市在住)

< ご寄付 >

山野辺伸作さん、久永佳弘さん、天野正臣さんよりご寄付を頂きました。
厚くお礼申し上げます。

<平成 30 年度定期総会>

当会の平成 30 年度定期総会が、4 月 8 日(日)、水の館 3F 研修室で開催され、29 年度事業報告、決算報告、新年度事業計画および予算について審議の結果、全て提案通り承認・決議されました。なお、30 年度予算(案)は、一部金額訂正し提案されました。(30 年度事業計画の概要と 29 年度決算および 30 年度予算は次号掲載いたします)

<野鳥講座>

定期総会終了後の午後 3 時から 4 時 15 分、同じく研修室において、3 月末まで我孫子市鳥の博物館学芸員を務められ 4 月からは市役所市民課に勤務されている岩本二郎さんを講師に野鳥講座を開催し、35 名の会員が参加しました。

講座のタイトルは「野鳥の鳴き声と録音の楽しみ方」とされ、野鳥の鳴き声を音声で聞き覚えることにより声を楽しむだけでなく観察力も向上すること、デジタル録音機器の普及により気軽に録音ができるようになってきていること、更には小学生への教育普及活動の体験を通して子供たちへの啓発における音源活用の有効性・可能性などについてお話しされました。

講師の岩本さんは、昨年 4 月に鳥の博物館に赴任されてきましたが、前職では新潟県長岡市立博物館に 7 年、和歌山県立自然博物館に 3 年、学芸員を務められており、これまでの野鳥の音源録音は 100 種に達し、和歌山県時代からはイソヒヨドリの研究が続けられています。

講話の中では、我孫子市で録音されたヒクイナやエゾムシクイ、長岡市で録音されたサンショウクイ、ノジコ、サシバ、ホトトギス、サンコウチョウ、アカショウビンなど、普段なかなか聞けない野鳥の音声が紹介され、長岡市立博物館勤務時代には小学生が野鳥の声にふれ鳥に興味をもつようになったという体験談から、クラシック音楽と野鳥の声の共通性とその楽しみ方など、興味深く楽しいお話が盛りだくさんでした。また、次世代層への啓発活動にも大いに示唆に富むお話でした。

このような貴重な機会を提供して頂いた岩本さんに感謝申し上げます。

ほーほーどり No. 262 (2018 年 5~6 月号)

発行 2018 年 5 月 1 日

発行人 間野吉幸

編集人 青木典子、古出洋子、小玉文夫、千葉洋、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270 1143 我孫子市天王台 2-15-17 桑森亮 Tel: 04-7182-3149

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140 - 2 - 647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費 2,000 円(大学生・高校生 1,000 円、中学生以下 500 円、家族会員 無料)